



厳しい現実の

克服を期して

横芝町長 佐瀬哲司

輝かしい新春を迎え、謹んでみなさまのご健勝をお喜び申し上げます。

昨年は、国の内外ともに多事多難の年でありました。特に世界的に不況の嵐が吹き荒れて、深刻な経済不況となり政府の積極的な対策にもかかわらず、その効果が地方へは未だ浸透するにいたらず、商業、サービス業、工業、建設業などあらゆる業種にわたり、並々ならぬご心労のことと推察いたします。

この間は、豊かな田園都市としての健全な町の発展を願いつつ、住民サイドに立っての町政を積極的に進めてまいりました。その結果、町議会をはじめ町民のみならず、まのお力添えのおかげで、学校や保育所の防音改築をはじめ、町民野球場・テニスコート等、健康づくりのための体育施設の整備、道路や生活雑排水処理施設など生活環境の整備、コミュニケーションの場としての集会所の建設等、順調に成果を収めつつ第一次長期計画を終えることができました。

加えて異常気象による冷害、あるいは台風被害等、町の基幹産業である農家の経済に与えた影響もまた甚大なものであります。また国政の方では、増税なき財政再建をキヤッチフレーズにした鈴木内閣が退陣のやむなきにいたり、代わって行政改革を旗印にした中曽根内閣が誕生したものの、その前途は必ずしも平坦な道ではなく、樂觀を許しません。

しかしながら今後に残された課題も多く、町づくりの究極の目的である明るく住みよい横芝町の実現をめざして、町は二十一世紀という新しい時代を迎えるにふさわしい活力のある調和のとれた近代的な町づくりを進めるため、昨年第二次五か年計画を策定いたしました。引き続きみなさまのご協力を得ながら着々と実行に移していく考えであります。

この五か年計画の概要につきましては、町勢要覧によりお知らせいたしますが、その中から主な事業を二・三申し上げますと、騒音特別法による都市計画区域編入を待つての坂田池周辺への本格的な大公園計画をはじめ、町民広場に

しかしながら現在の自治体は、有史以来の厳しい変革期を迎えております。町民のみならずが真に町政に求めているものは、耳ざわりのよい安易な慰めや迎合ではなく、ありのままの現実と問題点を卒直に示し、その克服への具体的な方策を町民とともに考え、実行していく姿勢であると考え、今後の執行にあたってまいります。

住んでよかったといわれるような町に移り住んでみたい横芝が離れがたい横芝がこんな魅力ある町こそ町長としての私の追い求めている理想郷であります。みなさまの深いご理解とご協力を心より切望いたします。

さて、いよいよ本年は四年に一度の統一地方選挙の年であります。

四月に入りますと、県議会議員、町議会議員の選挙にはじまり、六月の町長選挙、参議院議員選挙と、一連の選挙が次々と実施されます。

当町においても、選挙管理委員会を中心となり「明るい選挙推進協議会」を結成、明正選挙に向けて一大運動を展開する予定です。

正しい選挙を通して、真に役立つ人、有能な人、誠実・清潔な人を選び出すことこそ国づくり、町づくりの基本となるものと私は確信いたします。

そのためには、立候補者の良識

あひまごころ

二か年継続で、三百五十人も収容できる大集会室や、各種予防接種や成人病検診などに利用できる施設等をもりこんだ大型集会所施設を建設いたします。さらに、坂田池を起点として桜前に至る延長四・三キロの大型産業開発道路の建設工事もすでに四十％の用地買収を完了し、昭和六十一年の完成を目標に着手と進行しております。

また新住民の多い地区には、新旧住民の交流の場としての集会所の建設、生活雑排水の処理対策等、健全な町づくりをめざして数

町長

町と議会の動き 12月

- 1日 全国町村長大会(二日まで) 東京
- 2日 産業建設常任委員会
- 3日 総務常任委員会
- 4日 民生文教常任委員会
- 5日 成田用水総代会
- 6日 町内一日清掃
- 7日 総武中央ライオンズクラブ
- 8日 総会
- 9日 大総保育所保護者陳情来庁
- 10日 松尾町
- 11日 定例町議会
- 12日 消防団幹部規律訓練
- 13日 大網町長選挙事務所開き
- 14日 農業振興会青年部視察
- 15日 森代議士を励ます会 東京
- 16日 定例町議会
- 17日 建設省陳情(河川問題) 東京
- 18日 定例町議会
- 19日 交通安全関係者歓送迎会
- 20日 谷台集会所落成式
- 21日 交通安全協会支部協議会
- 22日 交通安全協会支部協議会
- 23日 農政審議会
- 24日 農政審議会
- 25日 工業団地促進対策委員会